

様式第3号（第4条関係）

会 議 録

1 附属機関等の会議の名称

令和5年度 第1回丹波篠山市視聴覚ライブラリー運営委員会

2 開催日時

令和5年6月27日（火） 19時00分～20時35分まで

※傍聴の受付時間（18時30分から18時55分まで）

3 開催場所

丹波篠山市立中央図書館 視聴覚ホール

4 会議に出席した者の氏名

(1) 委 員 塩尻 活平 酒井 宏 有本 美和 岩崎 裕見子
新川 曜子 畑 弘恵 松本 将典 松本 清一

(2) 執行機関 丹波篠山市教育長 丹後 政俊
企画総務部部長 竹見 聖司
企画総務部総務課課長 河南 剛

同 副課長兼視聴覚ライブラリー館長 山田 康弘

同 課長補佐 近成 和泉

同 映像制作係係長 高見 晴彦

5 傍聴人の数

0人

6 議題及び会議の公開・非公開の別

全て公開

7 非公開の理由

該当なし

8 会議資料の名称

令和5年度第1回丹波篠山市視聴覚ライブラリー運営委員会次第

（参考資料）令和4年度実績データ

9 審議の概要

1. 開会

2. 委嘱状交付

丹後教育長から委嘱状交付

3. 挨拶

丹後教育長挨拶

4. 自己紹介

5. 正副委員長の選出

委員長に松本清一氏、副委員長に出口立世氏が就任

松本委員長 就任挨拶

6. 報告事項

・令和4年度の事業実績について（事務局より次第に基づき説明）

（質疑・応答）

委員長：編集室の利用について、令和4年度実績は432件であるが、利用者の対応により通常業務への影響はないか。

事務局：まれに同時時間帯に複数の利用があると対応に追われるが、1件ずつの対応では影響はない。

委員長：編集室の利用は予約制か

事務局：基本的に事前に予約をしてもらっているが、状況により予約がなくても利用してもらっている。

委員長：小学校、中学校の教員は動画の編集はどうされているのか。

A 委員：タブレットやクロームブックで動画編集ができる。この編集室の存在を知っている教員は利用させてもらっていると思う。

B 委員：中学校の行事で動画を作成するときは学校にあるパソコンを使用している

委員長：丹波篠山動画データベースのシステム再構築について、以前のデータベースでは何が問題で令和4年度に更新することになったのか。

事務局：データベースで使用しているPHPというプログラムのバージョンが古いため、プログラムの不具合が残ったままの状態である可能性があり、不正アクセスに利用されたり、ウイルスに感染する危険性があるため、プログラムのバージョンアップを行った。また、それに伴いデータベースのホームページのデザイン、動画の検索方法をリニューアルし、スマートフォンなどでも見やすく操作しやすい表示方法を採用した。

C 委員：何年振りに更新したのか。

事務局：PHPのプログラムは10年振り、ホームページのデザイン及び表示方法は5年振りの更新となる。

- D 委員：今、スマホで確認したが見やすく操作しやすいと感じる。視聴覚ライブラリーで保有する動画はすべてデータベースにアップロードしてあるのか。
- 事務局：編集前の素材はアップロードしていない。また、まだアップロードしていない過去の編集済みの動画もあるので順次行っていく。
- 委員長：丹波篠山動画データベースはどのような活用を見込んでいるのか。
- 事務局：ホームページ上での動画視聴の他、動画が必要な方にはDVD等にダビングして提供することも可能である。
- 委員長：丹波篠山まるいのTVの視聴回数とチャンネル登録者数が増加しているが、観てもらおうための工夫をしたのか。
- 事務局：まるいのTVのチャンネルで「デカンショ特別番組」を配信したため、約5,300回視聴回数が増加した。また、その配信時にチャンネル登録者も増加したと思われる。
- 委員長：ICTふれあいサロンでサポートを受けて、利用目的を達成できた方の割合は大きいですが、担当されていていかがか。
- E 委員：令和4年度の延べ利用人数は1,104人であるが、実利用者数は125人で、私が担当している水曜日もほぼ同じメンバーが毎週利用されている状況である。繰り返し利用するのもよいが、より多くの市民にサロンでパソコンの学習ができることを周知する必要があると感じる。
- 委員長：学ぶことができる環境があることが大事なことである。ふれあいサロンの周知をお願いします。
- 委員長：丹波篠山映像祭については、3年振りの通常開催となりホールの大画面と音響設備で映像作品を鑑賞すると迫力があると感じた。

7. 審議事項

- ・令和5年度の事業推進について（事務局より次第に基づき説明）
（質疑・応答）

- 委員長：視聴覚ライブラリー事業での、編集室の利用について学校と連携できることはないか。
- A 委員：地域のふるさと教育では、動画データベースを検索し地域の映像を利用している。
- B 委員：動画編集ができる場所があるという事を周知し、活用するようにしていく。
- C 委員：地域配信事業の新規に予算化された映像制作委託料について、予算の根拠について説明いただきたい。
- 事務局：ニュース映像の制作を見込んでの1回分の予算で、撮影1日に27,500円、編集1日に27,500円の見積もりである。
- C 委員：映像制作を委託する行事などは決まっているのか。

- 事務局：現在は未定である。2人の職員がどうしても撮影に行けない場合など、臨時的に委託することを想定している。
- 委員長：委託する行事等を事前に決定したうえで映像の制作を行い、有効な予算執行をお願いする。
- 委員長：丹波篠山動画データベースの項目で、蓄積されている動画データや編集データなどの保存方法を再検討するとあるが、どういうことを行うのか。
- 事務局：現在、映像の編集データや動画データは「年月日 イベント名」のフォルダに保存しているが、担当職員により作業方法が異なるため、統一したルールを再検討する。イベント名のフォルダ毎にどのような内容の映像が保存してあるかわかるように、動画データベースの基本情報データと連携した、映像の情報データ様式を考案する。
- 委員長：丹波篠山まるいのTVは、毎月配信することを目標にすることも大事だが、質の良い映像をより多くの方に観てもらえる工夫を考えることも大切である。配信回数を減らしてでも、有効な情報を市民に届けるように尽力いただきたい。
- C 委員：「Webラジオ」インターネット配信とあるが、ラジオ局があって番組を配信しているかのようでわかりにくいので、名称を変更した方が良いと思う。
- 事務局：音声版「広報丹波篠山」YouTube 配信等、わかりやすい名称に変更するよう検討する。
- 委員長：ICTふれあいサロンについて、利用が多い水曜日以外の曜日の利用者数はどうか。
- 事務局：令和4年度の曜日別利用人数は、水曜日が357人、次に多い曜日が土曜日の202人で最も少なかった曜日は火曜日の76件だった。
- E 委員：利用者用のパソコンを5台から3台に台数を減らしているが、利用の再開はしないのか。
- 事務局：今後、サポートスタッフの意見も聞きながら検討する。
- 委員長：丹波篠山映像大賞について、最終審査会および丹波篠山映像祭の日程が2月から11月26日に変更となった。作品応募の締め切りも8月31日までと早まっているが、反響や問い合わせはあるか。
- 事務局：問い合わせはないが、本日までに4作品の応募があった。

8. 閉会

竹見部長挨拶

9. その他

- ・「丹波篠山動画データベース」の紹介